

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

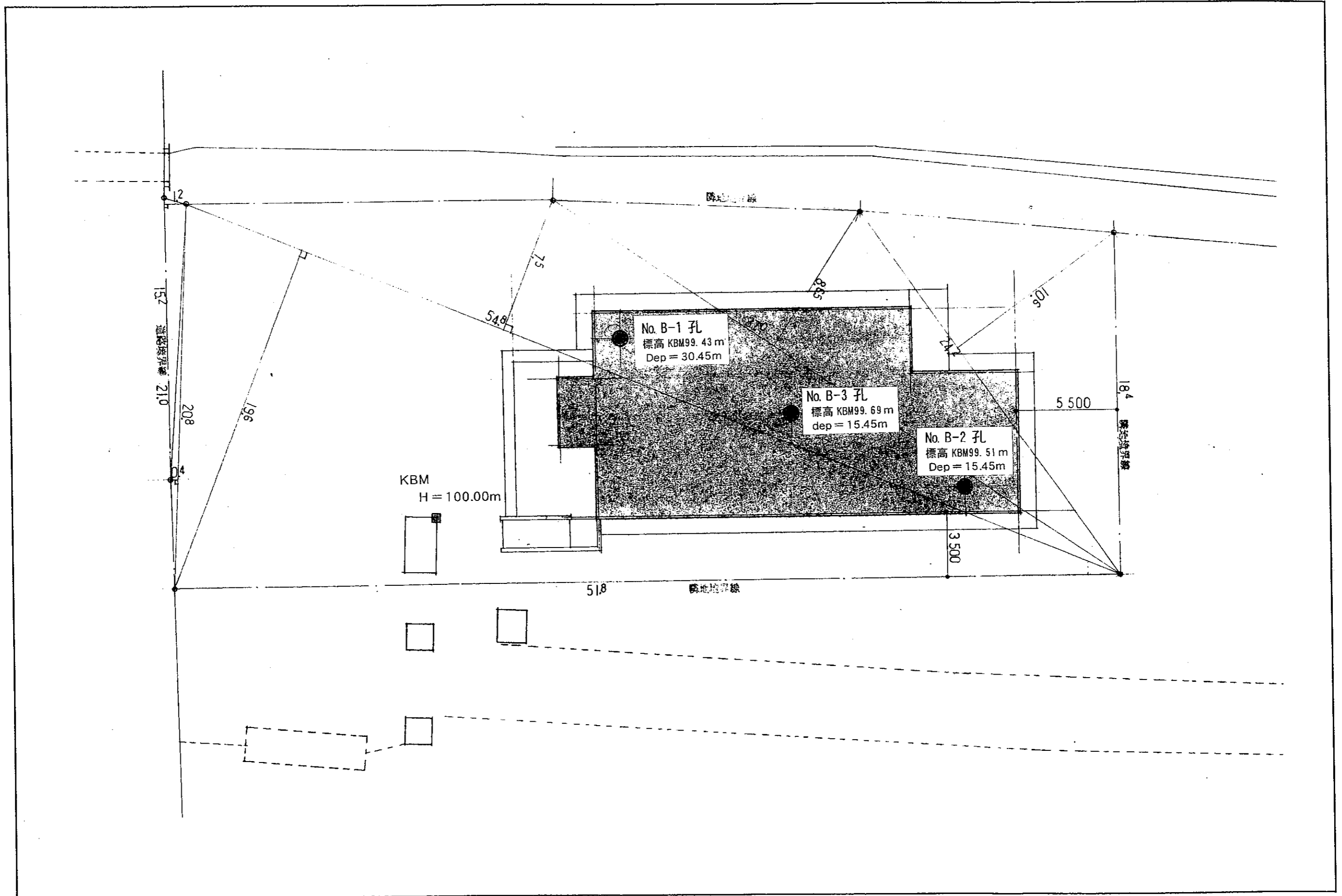
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

調査位置平面図

縮尺 1 / 200



ボーリング柱状図

県営住居環境整備計画二宮地区コミュニティ施設
新築（設計業務）委託

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. B - 2 孔		調査位置		二宮町物井2013-2		北緯
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所		調査期間		平成11年7月6日~11年7月7日		東経
調査業者名	主任技師		現場代理人		アコ鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	KBM 99.69m	方角	北0° 270°西 180°南	地盤勾配	加納KR-100		ハンマー落下用具
総掘進長	15.45m	度	上下0°	使用機種	NFD9		V-6型

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試験採取方法	室内試験	掘進月日
										深	度	打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値					
1	0.70	98.99		表土(シルト) 砂質シルト	暗褐			含水-中位。粘性-中位。礫径0.60mm付近より火山灰質を呈す。	7/1 1.30	1.15	3	2	2	7	33				
2	2.00	96.99		砂質シルト	褐灰 ~ 暗褐			含水-中位。粘性-低位。所々に細砂を多混入する。若干、固結状を呈する。		1.48	2	2	5	30					
3	2.70			砂						2.45	6	9	21	30					
4				砂						3.15	6	9	21	30					
5				砂						3.45	13	19	48	30					
6				砂	灰褐			含水-高位。礫径1.0~3.0mm程度の円~亜円礫が主体である。礫径4.0~1.2.0mm位の礫・玉石を介在する。		4.45	15	17	48	30					
7				砂						5.45	14	20	50	30					
8				砂						6.15	8	14	34	30					
9	6.55	90.44		粘土	褐			軟質な。含水-高位。粘性-中位。		6.45	4	1	6	30					
10	0.75	89.69		砂	褐			含水-中位。粘性-中位。礫径1.0~3.0mm程度の円礫が主体である。		7.15	10	8	9	27					
11	0.40	89.29		砂	褐			含水-中位。粘性-中位。礫径1.0~3.0mm程度の円礫が主体である。		7.45	6	5	2	13					
12	1.15	88.14		粘土	褐~灰褐			含水-中位。粘性-中位。礫径1.0~3.0mm程度の円礫が主体である。礫径1.1.0mm付近に粗砂の薄層を挟在する。礫径1.1.3.5mm付近にシルト質細砂の薄層を挟在する。		8.15	2	6	10	30					
13				砂	褐			含水-中位。粘性-中位。礫径1.0~3.0mm程度の礫主体であり、径4.0~8.0mm位の礫・玉石を介在する。基礎部は粗中砂が主体であり、細粒砂を混入する。深度1.3.0.0~1.3.3.0m付近にシルト混り砂を挟在する。		8.45	16	15	19	50					
14				砂	褐			含水-中位。粘性-中位。礫径1.0~3.0mm程度の礫主体であり、径4.0~8.0mm位の礫・玉石を介在する。基礎部は粗中砂が主体であり、細粒砂を混入する。深度1.3.0.0~1.3.3.0m付近にシルト混り砂を挟在する。		9.15	6	9	12	27					
15	3.90	84.24		砂	褐			含水-中位。粘性-中位。礫径1.0~3.0mm程度の礫主体であり、径4.0~8.0mm位の礫・玉石を介在する。基礎部は粗中砂が主体であり、細粒砂を混入する。深度1.4.0m付近に細粒分の含有がやや多い。		10.15	10	10	12	32					
16				砂						10.45	18	12	42	30					
17				砂						11.15	12	12	32	30					
18				砂						11.45	10	10	12	32					
19				砂						12.15	18	12	42	30					
20				砂						13.15	12	12	32	30					
21				砂						13.45	10	10	12	32					
22				砂						14.15	18	12	42	30					
23				砂						14.45	12	12	32	30					
24				砂						15.15	12	12	42	30					
25				砂						15.45	12	12	42	30					

ボーリング柱状図

県営住環境整備(第二宮地区)コミュニティ施設
新築(設計業務) 委託

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No. B - 3 孔	調査位置	二宮町物井 2013-2	北緯
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所	調査期間	平成11年 7月 7日~11年 7月12日	東経
調査業者名		現場代理人	アコ鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	KRM 99.51m	主任技師		ハンマー落下用具
総掘進長	15.45m	方角	北0° 東90° 西270° 南180°	ポンプ
		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	V-6型
		使用機種	加納KR-100	
		エンジン	NFD10	

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験採取 試料番号	室内試験 ()	掘進 月 日
								深 度 (m)	10cm 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
98.76	0.75	表土(粘性土)	暗灰	異			含水-中位~高位。有機物・根毛を混入する。	9	10	35	10					
98.21	0.55	火山灰質シルト	茶灰				一次堆積のローム状。上部粘性あり。有機物を混入する。	3	6	10	3					
97.91	0.30	シルト	茶灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。砂粒径は5~10mm程度に分布する。	1	1	9	3					
96.61	1.30	火山灰質シルト	暗灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	5	7	17	17					
96.16	0.45	シルト	茶				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	3	5	30	30					
95.71	0.45	シルト	茶灰				含水-高位~中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	9	13	37	37					
95.41	0.30	砂	茶灰				含水-高位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	10	10	39	39					
93.51	1.70	礫混り砂	暗灰				含水-高位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	14	15	43	43					
		砂	暗灰				含水-高位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	16	21	46	46					
		砂	暗灰				含水-高位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	10	8	27	27					
		玉石混り砂	暗灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	10	10	30	30					
89.31	4.20	シルト質砂	茶灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	3	2	7	7					
88.91	0.40	シルト	茶灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	4	17	24	24					
88.16	0.75	シルト	灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	17	14	47	47					
87.81	0.35	礫混り砂	灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	18	16	50	50					
		礫混り砂	暗灰				含水-中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	18	16	26	26					
		シルト	暗灰				含水-低位~中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	18	28	52	52					
84.06	3.75	玉石混り砂	暗灰				含水-低位~中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	6	10	28	28					
		砂	灰				含水-低位~中位。火山灰の二次堆積物。有機物や軽石を混入する。下部付近に径5~10mm位の円礫を混入する。	12	12	30	30					

ボーリング柱状図

調査名 岡山県 倉敷市 備前二宮地区コミュニティ施設 新築（設計業務）委託

事業・工事名

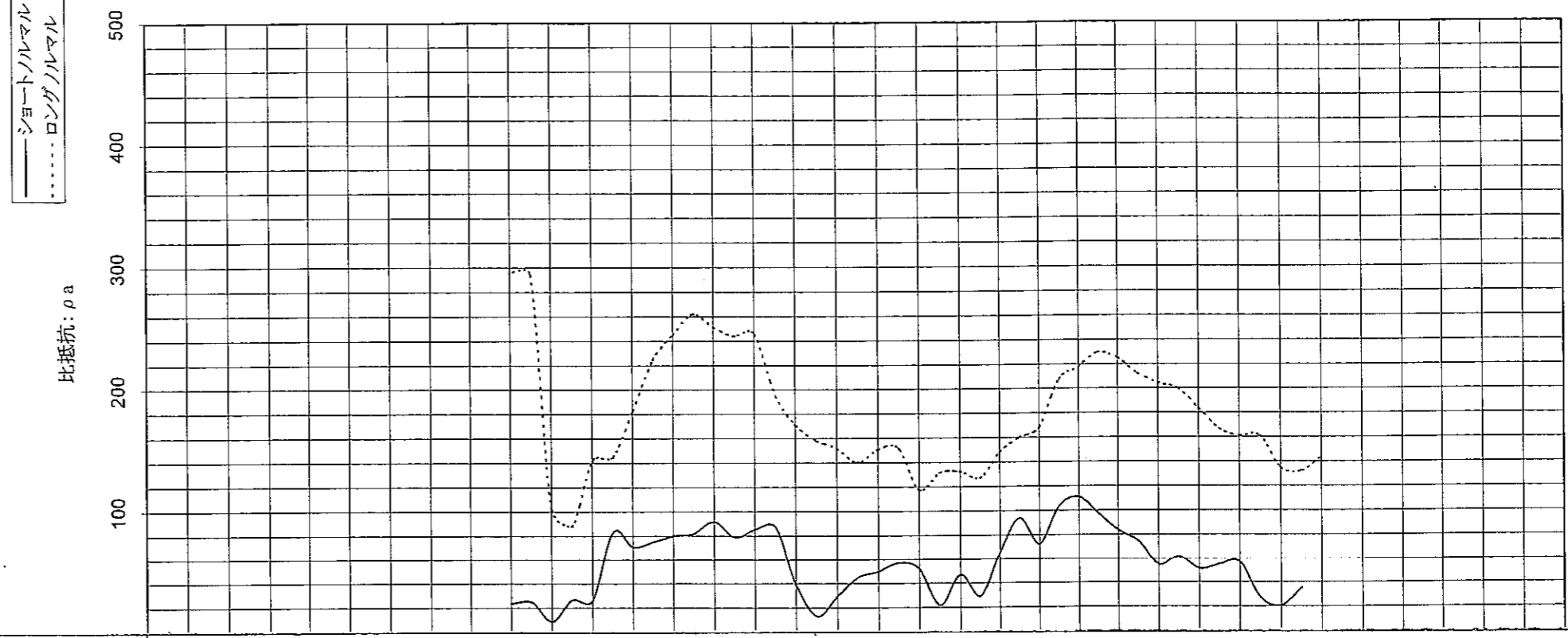
ボーリング名	No B-1 孔		調査位置	二宮町物井 2013-2		北緯
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所		調査期間	平成11年 6月24日～11年 7月 2日		東経
調査業者名	主任技師		現場	ア		ボーリング者
孔口標高	KBM 99.43m	方角	北 270° 西 180° 東 90° 南	コ 鑑 定 者	ハンマー 落下用具	
総掘進長	30.45m	度	180° 上 90° 下 0°	加納 KR-100	自動落下 (63.5 kg)	
				エンジン	ポンプ	
				NFD9	V-6 型	

ボーリングNo.

シートNo.

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	孔内水位 (m) / 測定月日
98.63	0.80	シルト	シルト	暗褐			含水あり、粘性一低～中位。草根の混入があり、ローム質である。	7/2 1.15 米
97.08	1.55	シルト	シルト	褐			含水～中～高位。粘性～中位。不規則に細砂を挟む。	
95.93	1.15	砂	砂	灰			含水～高位。シルト～中位。粒径40～70mm位の礫が主体である。礫径10～30mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
95.18	0.75	中砂	中砂	暗灰			含水～高位。粒径40～70mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
91.93	3.25	砂	砂	灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
89.08	2.85	粘土	粘土	茶灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
88.43	0.65	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
82.78	5.40	砂	砂	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
82.28	0.50	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
81.83	0.45	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
80.73	1.10	砂	砂	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
80.08	0.65	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
79.13	0.95	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
78.63	0.50	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
78.08	0.55	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
71.48	6.60	粗中砂	粗中砂	暗褐			含水～中位。粒径10～30mm位の礫が主体である。粒径40～90mm位の礫を介する。非常に密実を呈する。所々に砂の薄層を挟む。	
71.08	0.40	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
70.38	0.70	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
68.43	1.15	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	
68.43	0.25	シルト	シルト	暗灰			含水～中位。粒径10～40mm位の礫・面円礫が主体である。粒径40～100mm位の礫を介し、砂分を多く含む。	

深度-ρa 曲線



比抵抗: ρa